

徳島市民病院

地域医療連携だより

平成23年

8
月号〒770-0812 徳島市北常三島町2丁目34番地 徳島市民病院 地域医療連携室
Tel(088)622-5121(代表)・Fax(0120)20-5583

徳島市民病院の理念

「思いやり・信頼・安心」

徳島市民病院の乳がん治療の現状

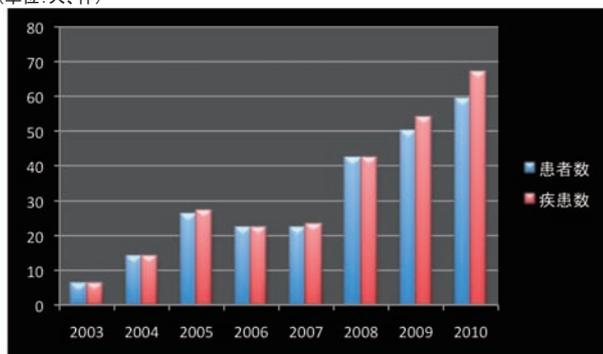
外科主任医長 日野 直樹



地域医療連携の先生方には日頃より大変お世話になっております。

おかげさまで、当院の乳がん症例は昨年60例を超え(表)、本年はさらに多くの患者様のご紹介を頂いており、先生方のご協力にお礼申し上げます。

(表) 徳島市民病院の乳がんの年次別症例数
(単位:人、件)



乳がんはその診断から治療まで多くの処置を必要としますが、当院はそのほとんど全てを自施設で行うことができます。また手術までの待ち期間が短いこと、他科との連携がスムーズで合併症のある患者様の対応が可能であることも特徴の一つです。本年度からは、徳島大学形成外科のご協力で、当院において乳腺全摘後の再建術も行っております。また検診は、マンモグラフィー・触診とも女性スタッフだけで行っています。増加しつつある乳がん患者様に幅広く対応できるよう治療体制を充実していこうと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

〈ホルモン療法について〉

乳がんの約70%にはホルモンレセプターが発現しており、これらの症例では再発予防目的でホルモン療法を行います。今回は皆様にお世話になることの多いホルモン療法についてまとめてみました。

ホルモン療法は、閉経前と閉経後でそのメカニズムが異なります。

閉経前はエストロゲンが卵巣で作られます。これに対しては、エストロゲンレセプターに結合し抗エストロゲン作用を示すタモキシフェンが5年間用いられます。レセプターを阻害することで乳がん細胞の増加を防ぎ再発を抑制するのです。しかし、タモキシフェンは子宮や骨のエストロゲンレセプターと結合したときは、エストロゲンと同様に働きます。このため骨粗しょう症には予防的に働く一方で、子宮癌をわずかに増加させます。LH-RHアゴニスト(ゴセレリン酢酸塩、リュープリン)は、FSH(卵巣刺激ホルモン)の分泌を抑制することで血液中のエストロゲンを下げる働きがあり、タモキシフェンと併用で2~5年間程度使用します。

閉経後は、アロマターゼ阻害剤(アナストロゾール・レトゾール・エキゼメスタン)を5年間用います。閉経後のエストロゲンは、脂肪組織や腫瘍の周囲にあるアロマターゼという酵素がエストロゲンをつくるため、これを阻害することでエストロゲン濃度を下げます。タモキシフェンも使用できますが、アロマターゼ阻害剤の方が、再発抑制効果が強いことが知られています。

内分泌療法の副作用としては、ホットフラッシュ・関節痛・高脂血症などがあります(図)。またアロマターゼ阻害剤では骨粗鬆症が問題となり、カルシウム製剤やビスフォスフォネートを併用する事があります。タモキシフェンでは子宮癌がわずかに増えるため、毎年の健診が必要です。

内分泌療法の副作用

主に低エストロゲン状態による更年期様症状や骨量の低下などがあります



(図)

(独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 乳腺科)

小児科・産科連携懇話会のご案内

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
この度、産婦人科診療ガイドライン産科編にRSウイルスに関する項目が追加されましたので、右記のとおり講演会を企画しております。
御多忙の折とは存じますが、是非ご参加ください。

【日 時】 平成23年9月7日(水) 19:30～

【場 所】 徳島市民病院 3階会議室

【内 容】 「新生児にとってインフルエンザより怖いRSウイルス」
徳島市民病院 小児科主任医長 山上 貴司

地域医療連携室からのお知らせ

FAX予約をお願いします

患者さまをご紹介していただく際には、事前にFAX予約をお願いいたします。FAX予約をしていただきますと、診察当日の待ち時間が短くなります。お配りしております「地域医療連携患者受診申込書」でお申し込みください。
なお、FAX予約をご利用の際は、**必ず診療情報提供書を患者様にお渡しください。**
申込書が不足の場合は、ご連絡いただければお送り致します。また、当院ホームページからも印刷可能です。

電話 (088) 622 - 5121 (内線 2118)

FAX (0120) 20 - 5583

ホームページアドレス <http://www.city.tokushima.tokushima.jp/siminbyoin/>

※なお、救急診療を要する患者さまの場合は、別にお知らせしております**救急担当医まで直接ご連絡をお願いいたします。**(平日時間内)

統計コーナー

診療科別「地域医療支援病院」の紹介率・逆紹介率

科 名	6月						5月		4月		
	初診患者数 (人)	初診時間外 (人)	初診紹介患者 (人)	初診即入院 (人)	逆紹介患者 (人)	紹介率 (%)	逆紹介率 (%)	紹介率 (%)	逆紹介率 (%)	紹介率 (%)	逆紹介率 (%)
内 科	346	137	130	35	98	62.7%	45.2%	61.2%	36.1%	64.9%	49.8%
小児科	414	205	113	90	79	52.0%	31.6%	76.8%	37.4%	76.5%	29.0%
外 科	236	64	143	21	93	81.6%	52.0%	82.5%	46.2%	82.7%	63.8%
整形外	308	75	175	18	277	75.4%	115.4%	75.4%	104.2%	70.9%	99.5%
形成外	0	0	0	0	2	—	—	100.0%	100.0%	66.7%	33.3%
脳神経	82	14	36	11	75	56.2%	102.7%	58.1%	80.2%	55.8%	93.7%
皮膚科	90	12	26	3	13	34.2%	16.5%	41.2%	14.7%	24.4%	6.7%
泌尿器	58	6	32	4	22	63.0%	40.7%	67.5%	55.0%	58.3%	43.8%
産婦人	79	17	34	2	30	53.1%	46.9%	62.2%	28.4%	80.6%	25.4%
眼 科	16	3	5	0	6	38.5%	46.2%	33.3%	100.0%	20.0%	70.0%
耳鼻咽	18	0	3	0	11	16.7%	61.1%	7.1%	28.6%	27.3%	63.6%
放射線	84	0	84	0	95	100.0%	113.1%	96.6%	110.2%	100.0%	119.7%
合 計	1,731	533	781	184	801	64.6%	63.0%	68.3%	58.5%	70.0%	62.0%

平成23年6月の紹介患者数(再診患者を含む)
318医療機関より1043名ご紹介いただきました。
ありがとうございました。

